

I Excel マクロファイルをダウンロード

1 画面は、中央畜産会のHPのトップページです。
この上部見出しの **畜産関係情報** のページを選択します。

なお、次のURLからも、「畜産ICT事業・楽酪GO事業情報提供ページ」を開くことができます。

<https://jlia.lin.gr.jp/ict-raku/>



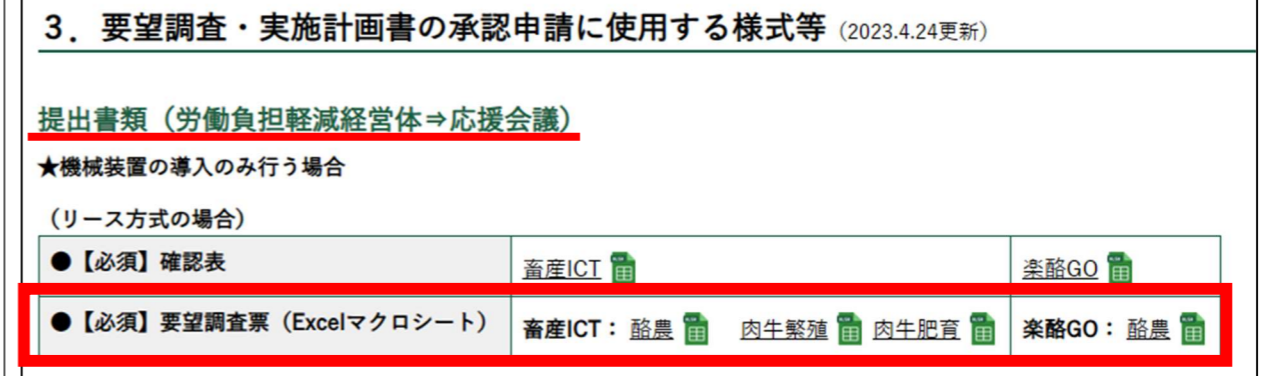
2 畜産関係情報のページに遷移後、「経営・支援」の項目の **畜産ICT事業・楽酪GO事業情報提供ページ** を開きます。



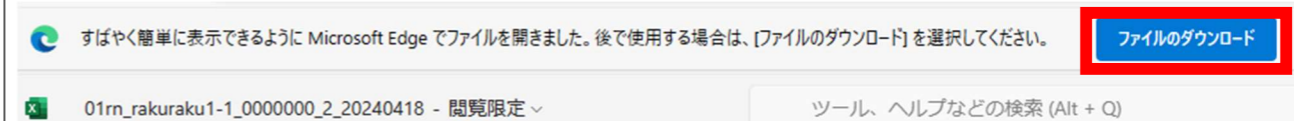
3 「畜産ICT事業・楽酪GO事業情報提供ページ」の「3 要望調査・実施計画書の承認申請に使用する様式等」の「**提出書類（労働負担軽減経営体⇒応援会議）**」の中に、畜産ICTの **酪農** **肉牛繁殖** **肉牛肥育**、楽酪GOの **酪農** のそれぞれの要望調査票 (Excel マクロシート) があります。

この手引きでは、畜産ICTの **酪農** を開きます。

なお、「Excel マクロシート」は、これ以降の説明では、「ファイル」と表記します。



4 畜産ICTのファイル 01m_rakuraku1-1_0000000.xlsx のダウンロード画面が開きましたので、**ファイルのダウンロード** を押下してください。そして、ダウンロードしたファイルを開き、**編集を有効にする(E)**⇒**コンテンツの有効化**を押下し、ファイルを開きます。

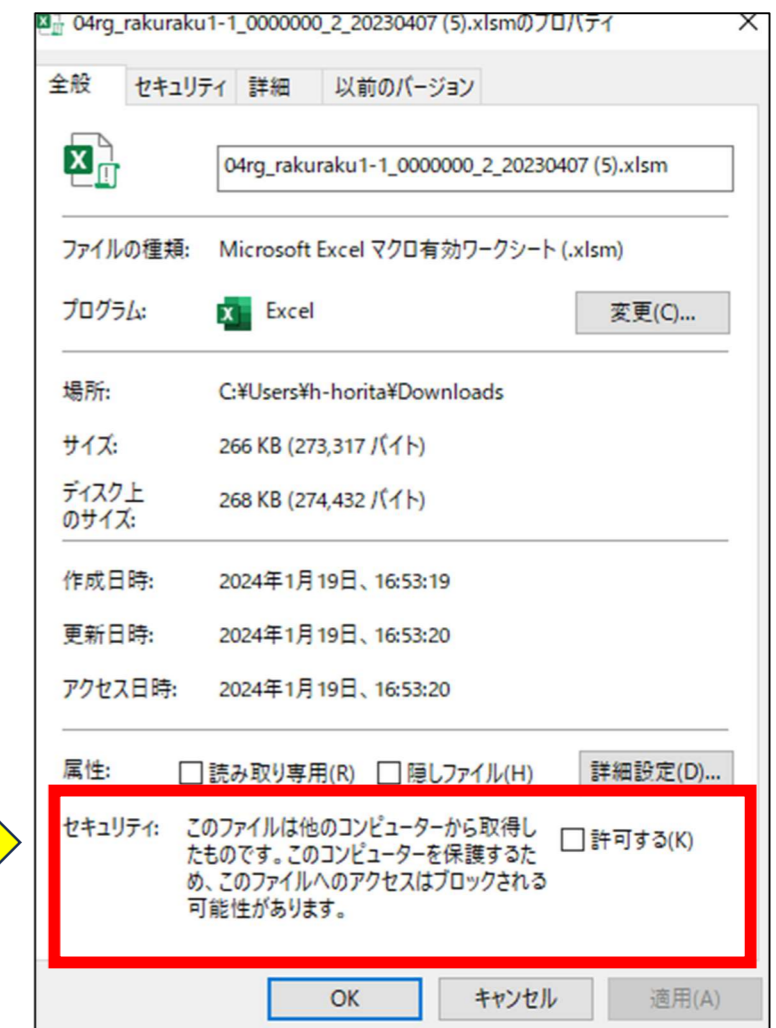
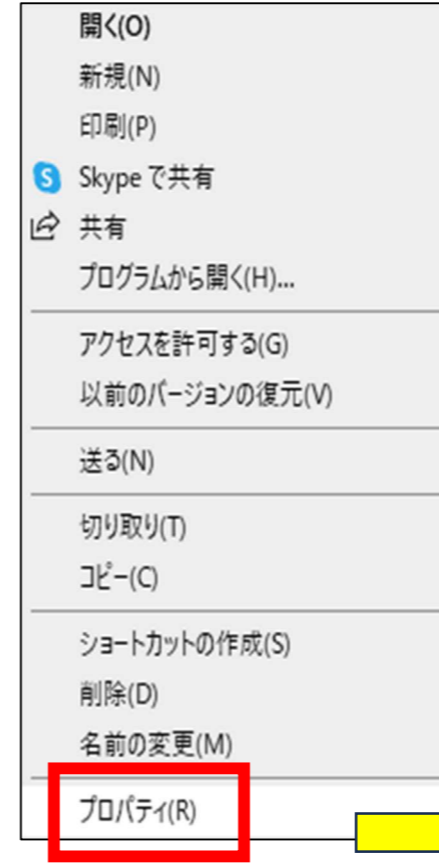


5 **編集を有効にする(E)** をクリックしたときに、**コンテンツの有効化**が表示されずに、右のセキュリティリスクが表示され、マクロの実行がブロックされた場合は、以下の手順で対応する。



6 Windows エクスプローラーを開き、ダウンロードしたファイル `04rg_rakuraku1-1_0000000.xlsx` を右クリックし、メニューから **プロパティ** を選択します。

次に、【全般】 タブの下部にあるセキュリティの **許可する** にチェックを入れ、 **OK** をクリックし、このファイルをダブルクリックすると開けます。



II ファイル 04rg_rakuraku1-1_0000000.xlsm を開く (ワークシートの構成)

1 ファイルを開くと、5つのワークシートが確認できます。

機械装置入力シート (ICT酪農用)	出力シート (ICT 別添6-1)	まとめシート (ICT 別添6)	項目リスト	機械装置リスト
--------------------	-------------------	------------------	-------	---------

2 各ワークシートの使用目的は次利用になっています。

ワークシート名	使用の目的	主な使用者
機械装置入力シート	<p>○ 労働負担軽減経営体は、このシートで入力を行います。</p> <p>なお、入力手順は、次の手順Ⅲ (145 頁) から手順Ⅴ (150 頁) までに記載しています。</p> <p>○ ここで入力された内容が各シートに反映されます。</p>	経営体
出力シート (ICT別添6-1)	<p>○機械装置入力シートで必要事項を入力後、プリントアウトすれば、提出書類「要望調査票 (別記様式第1号-1)」になります。</p> <p>○最終出力ページに、「補助金及び要望調査に関する確認書」がありますので、必ずプリントアウトして提出して下さい。</p>	経営体
まとめシート (ICT別添6)	<p>○応援会議は、当該シートデータをコピーし、<u>別ファイル</u>「参加要望書 (別記様式第1号)」に貼り付けていただければ、容易に書類作成 (入力) できます。</p> <p>○作成後、実施計画書承認申請書 (別記様式第2号) に添付し提出して下さい。</p>	応援会議
項目リスト	使用しません。	(管理用です。)
機械装置リスト	使用しません。	(管理用です。)

III 「機械装置入力シート」 ステージ1：申請概要の入力

<p>1 申請区分はプルダウン方式となっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・餌寄せロボット、発情発見装置、分娩監視装置、行動監視装置（繁殖）、行動監視装置（放牧）、乳頭洗浄機、移動式ほ乳機の機械装置の導入を希望する場合は、① ・搾乳ロボット、ミルクパーラー、搾乳ユニット搬送レール自動、搾乳ユニット搬送レール手動、ミルクカー自動離脱装置、自動給餌機（濃厚飼料用）、自動給餌機（濃厚・粗飼料用）、自走式配餌車、ほ乳ロボット（据え置き式、レール式を含む）、バーンスクレーパー、敷料散布機の機械装置を導入する場合は、② <p>上記の中から該当する内容を選択してプルダウンで「○」を入力してください。 ※申請区分が未入力である場合、エラー表示（赤セル）となります。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>申請する内容</th> <th>申請区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 餌寄せロボット、発情発見装置、分娩監視装置、行動監視装置（繁殖）、行動監視装置（放牧）、乳頭洗浄機、移動式ほ乳機</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>② 搾乳ロボット、ミルクパーラー、搾乳ユニット搬送レール自動、搾乳ユニット搬送レール手動、ミルクカー自動離脱装置、自動給餌機（濃厚飼料用）、自動給餌機（濃厚・粗飼料用）、自走式配餌車、ほ乳ロボット（据え置き式、レール式を含む）、バーンスクレーパー、敷料散布機</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </tbody> </table>	申請する内容	申請区分	① 餌寄せロボット、発情発見装置、分娩監視装置、行動監視装置（繁殖）、行動監視装置（放牧）、乳頭洗浄機、移動式ほ乳機	○	② 搾乳ロボット、ミルクパーラー、搾乳ユニット搬送レール自動、搾乳ユニット搬送レール手動、ミルクカー自動離脱装置、自動給餌機（濃厚飼料用）、自動給餌機（濃厚・粗飼料用）、自走式配餌車、ほ乳ロボット（据え置き式、レール式を含む）、バーンスクレーパー、敷料散布機	○
申請する内容	申請区分						
① 餌寄せロボット、発情発見装置、分娩監視装置、行動監視装置（繁殖）、行動監視装置（放牧）、乳頭洗浄機、移動式ほ乳機	○						
② 搾乳ロボット、ミルクパーラー、搾乳ユニット搬送レール自動、搾乳ユニット搬送レール手動、ミルクカー自動離脱装置、自動給餌機（濃厚飼料用）、自動給餌機（濃厚・粗飼料用）、自走式配餌車、ほ乳ロボット（据え置き式、レール式を含む）、バーンスクレーパー、敷料散布機	○						

IV 「機械装置入力シート」 ステージ2：機械装置の入力

<p>① 都道府県名：プルダウンで都道府県を選択してください（必須入力）</p> <p>② 応援会議名：都道府県名を選択後、応援会議名をプルダウンで選択できるようになります。応援会議が登録済みの場合、プルダウン選択してください。応援会議が登録済の場合、会議の代表者名も自動セットされます。</p> <p>③ 申込年月日：必須入力です。</p> <p>④ 住所：必須入力です。なお、申請者の住所はリース契約段階で修正する事例が多いので、申請者の所在する住所を正しく記入してください。</p> <p>⑤ 法人名称又は氏名：必須入力です。</p>	<p>ステージ2：機械装置の入力（楽酪GO）</p> <p style="text-align: right;">応援会議番号： <input type="text"/> 都道府県名： <input type="text" value="北海道"/> ①</p> <p style="text-align: right;">申込年月日 <input type="text" value="2024/5/1"/> ③</p> <p>応援会議名 <input type="text" value="びらとり畜産クラスター協議会"/> ②</p> <p>会議の代表者名 <input type="text" value="びらとり畜産クラスター協議会"/></p> <p>住所 <input type="text" value=""/> ④</p> <p>法人名称又は氏名 <input type="text" value=""/> ⑤</p> <p>（人の場合 代表者名）</p>									
<p>応援会議が未登録、または新規の応援会議の場合、既存の応援会議名入力欄の下にある <input type="checkbox"/> 新規登録 にチェックを入れ、応援会議名と代表者名を手入力で新規登録してください。新規登録にチェックを入れた場合、既存の応援会議名入力欄は入力不可になります。</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 新規登録</p> <p>新規応援会議名 <input type="text" value="有限会社 中畜ファーム"/></p> <p>会議の代表者名 <input type="text" value="和牛 モーター"/></p>									
<p>1 経営の概況（令和6年5月1日現在）</p> <p>① 経産牛頭数と労働力は必須入力です。年間総労働時間は経産牛頭数から自動計算が行われますので、入力しないでください。</p> <p>② 総労働時間又は飼養管理労働時間は、いずれかを選択してください。（内容は、104～105 頁参照）</p>	<p>1 経営の概況（令和6年5月1日現在）</p> <table border="1"> <tr> <td>① 経産牛頭数</td> <td style="text-align: center;">100</td> <td>頭</td> </tr> <tr> <td>労働力</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>年間総労働時間</td> <td style="text-align: center;">9,085</td> <td>時間</td> </tr> </table> <p>② <input checked="" type="radio"/> 総労働時間で計算 <input type="radio"/> 飼養管理労働時間で計算</p>	① 経産牛頭数	100	頭	労働力	2	人	年間総労働時間	9,085	時間
① 経産牛頭数	100	頭								
労働力	2	人								
年間総労働時間	9,085	時間								

2 機械装置の導入関係
 (1) 搾乳方式の改善
 ① 現在の状況
 現在の搾乳方式：プルダウンから現在の搾乳方式を選択します **(必須入力)**
 自動乳頭洗浄機の保有；現在、自動乳頭洗浄機を保有している場合、プルダウンで「○」を選択します。

①現在の状況

現在の搾乳方式：	バケット及びパイプライン方式（自動離脱装置あり）
自動乳頭洗浄機の保有：	バケット及びパイプライン方式（自動離脱装置あり） 搾乳ユニット手動搬送方式（自動離脱装置なし） 搾乳ユニット手動搬送方式（自動離脱装置あり） 搾乳ユニット自動搬送方式

②導入希望の機械装置

機械装置の種類	搾乳ロ
---------	-----

② 導入希望の機械装置
 搾乳方式で導入希望の機械装置がある場合、機械装置の種類を選び、機械装置のメーカー名・型式・台（式）数・見積金額（税抜）の計を入力してください。
 ※メーカー名・型式は、機械装置リスト（164頁参照）に掲載されている機械装置は、プルダウン方式となっています。メーカー名から型式を入力してください。
 ※台（式）数・見積金額（税抜）の計は手入力してください。
 ※現況の搾乳方式と導入希望の機械装置の組み合わせによっては、エラー表示（赤セル）になる場合があります。
【(資料2) 選択可能な組み合わせ表 157頁参照】

②導入希望の機械装置

機械装置の種類	搾乳ロボット	ミルクパーラー	搾乳ユニット搬送レール		ミルク自動離脱装置
			自動搬送方式	手動搬送方式	
機械装置のメーカー名	LELY				ストランゴ
型式	A4				ソフィマットMD
台(式)数	1				1
見積金額（税抜）の計	25,000,000				5,000,000
消費税額	2,500,000				500,000

現状と同種搾乳方式の導入（増設を含む）を希望します（別紙説明資料あり）
 保有機械装置の能力に対し、搾乳頭数が計画に比べて増頭しており、過剰な労働時間である場合で、同種の機械装置の導入を希望する場合、チェックボックスに✓を入れてください。同種の機械装置導入が可能となります。
 但し、専門委員会の承認が必要であるため、**説明資料の提出が必要**です。

現状と同種搾乳方式の導入（増設含む）を希望します（別紙説明資料あり）

▶同種の機械装置を導入（増設）
 ミルカー自動離脱装置の増設を希望する場合、▶同種の機械装置を導入の **増設** を選択します。
 条件①：□現状と同種搾乳方式の導入（増設を含む）を希望します（別紙説明資料あり）に✓があること。
 条件②：現在の搾乳方式が、バケット及びパイプライン方式、搾乳ユニット手動搬送方式、ミルクパーラー方式（いずれも自動離脱あり）、搾乳ユニット自動搬送方式であること。
 条件③：導入希望の機械装置のミルク自動離脱装置に入力があること。

① 現状と同種搾乳方式の導入（増設含む）を希望します（別紙説明資料あり）

②

①現在の状況	現在の搾乳方式：	バケット及びパイプライン方式（自動離脱装置あり）
	自動乳頭洗浄機の保有：	バケット及びパイプライン方式（自動離脱装置あり） 搾乳ユニット手動搬送方式（自動離脱装置なし） 搾乳ユニット手動搬送方式（自動離脱装置あり） 搾乳ユニット自動搬送方式 ミルクパーラー方式（自動離脱装置なし） ミルクパーラー方式（自動離脱装置あり） 搾乳ロボット方式

③ ミルカー自動離脱装置

デラバル	
MUブルー	6
	6,000,000
	800,000

▶同種の機械装置を導入（パーラー方式変更）

ミルクパーラーの方式変更を希望する場合、▶同種の機械装置を導入の **パーラー方式変更** を選択します。

条件①：□現状と同種搾乳方式の導入（増設を含む）を希望します（別紙説明資料あり）に✓があること。

条件②：現状の搾乳方式が、ミルクパーラー方式（自動離脱装置あり）

条件③：導入希望の機械装置のミルクパーラーに入力があること。

条件④：現状のパーラー方式（プルダウン選択）、ストール数（手入力）に入力があること。

① 現状と同種搾乳方式の導入（増設含む）を希望します（別紙説明資料あり） ②

①現在の状況	現状の搾乳方式	ミルクパーラー方式（自動離脱装置あり）
	▶同種の機械装置を導入	
	○増設 ○パーラー方式変更	
	現状のパーラー方式	ヘリングボーン ストール数 6w

ミルクパーラー	
ミルクライン	
ミルプロP4C	
	1
	500,000,000
	50,000,000

搾乳方式チェック

(1) 搾乳方式の改善の必要項目の入力が終わったら、**搾乳方式チェック** ボタンを押下します。

入力内容に問題がない場合、削減労働時間の自動計算結果が表示されます。

（□現状と同種搾乳方式の導入（増設を含む）を希望します（別紙説明資料あり）に✓を入れてある場合は、削減労働時間の手入力が必要となります）

また入力内容に不備がある場合、自動計算は行われません。

エラー表示（赤セル）を修正し、再度 **搾乳方式チェック** を押下してください。

搾乳方式チェック 時間 時間 一手入力での削減時間の申請が必要な場合、こちらに記入してください。

機械装置の種類	搾乳ロボット	ミルクパーラー	搾乳ユニット搬送レール		ミルクパーラー 自動離脱装置
			自動搬送方式	手動搬送方式	
機械装置のメーカー名					デラバル
型式					MUブルー
台(式)数					8
見積金額（税抜）の計					3,000,000
消費税額					300,000

エラー箇所はセルが赤く表示されます。

(2) 給餌方式の改善

① 現在の状況

現在、保有している機械装置がある場合、プルダウン選択で「○」を入力します。

② 導入希望の機械装置

導入希望の機械装置がある場合、機械装置の種類を選び、機械装置のメーカー名・型式・台（式）数・見積金額（税抜）の計を入力してください。

※メーカー名・型式は、機械装置リスト（164頁参照）に掲載されている機械装置は、プルダウン方式となっています。メーカー名から型式を入力してください。

※台（式）数・見積金額（税抜）の計は手入力してください。

※現況の給餌方式と導入希望の機械装置の組み合わせによっては、エラー表示（赤セル）になる場合があります。

【(資料2) 選択可能な組み合わせ表 参照】

同種機械装置の導入を希望します（別紙説明資料あり）

機械装置老朽化等により、同種の機械装置の導入を希望する場合、上記「同種機械装置の導入を希望します」のチェックボックスに✓を入れてください。同種の機械装置導入が可能となります。但し、専門委員会の承認が必要であるため、**説明資料の提出が必要**です。

(2) 給餌方式の改善 同種機械装置の導入を希望します（別紙説明資料あり）

①現在の状況 ！現在保有の機械装置に「○」をプルダウン選択。全て未選択の場合は「人力による給餌方式」が自動選択。

機械装置の種類	自動給餌機（濃厚・粗飼料用）		飼料ロボット	自走式配餌車	（ほ乳）	
	自動給餌機（濃厚・粗飼料用）	自動給餌機（濃厚飼料用）			ほ乳ロボット（据え置き式、レール式を含む）	移動式ほ乳機
機械装置の保有状況						
飼料給与関係機械装置の保有状況： ②導入希望の機械装置						
機械装置の種類						
機械装置のメーカー名						
型式						
台(式)数						
見積金額（税抜）の計						
消費税額						

稲わら細断機の導入

(2) 給餌方式の改善の導入機械装置に、**稲わら細断機**が選択可能になりました。稲わら細断機の導入を希望する場合、**委員会対応要/別途説明資料有**をプルダウン選択で「○」を選ぶことで、稲わら細断機の導入が可能になります。稲わら細断機のメーカー名・型式・台(式)数・見積金額(税抜)の計を入力してください。

委員会対応要/別途説明資料有をプルダウンで「○」を選択せずに、稲わら細断機の導入することはできません。エラー(赤セル)になります。

稲わら細断機の導入を希望する場合、専門委員会の承認が必要です。削減時間を手入力して記入してください。

稲わら細断機の導入を希望する場合、専門委員会の承認が必要です。削減時間を手入力して記入してください。

委員会対応要/別途説明資料有	○
----------------	---

稲わら細断機	
チュウヂク	
ホシカッター	
	1
	2,500,000
	250,000

給餌方式チェック

(2) 給餌方式の改善の必要項目の入力が終わったら、**給餌方式チェック**ボタンを押下します。入力内容に問題がない場合、削減労働時間の自動計算結果が表示されます。

入力内容に不備がある場合、自動計算は行われません。

エラー表示(赤セル)を修正し、再度**給餌方式チェック**を押下してください。また稲わら細断機を導入する場合、稲わら裁断機の削減労働時間は自動計算されません。稲わら裁断機の削減労働時間と他の機械装置の削減労働時間を計算して手入力してください。

給餌方式チェック

チェックボタン押下時に自動計算

0 時間

一手入力での削減時間の申請が必要な場合、こちらに記入してください。

(3) 家畜飼養管理の改善

① 現在の状況

現在、保有している機械装置がある場合、プルダウン選択で「○」を入力します。

② 導入希望の機械装置

導入希望の機械装置がある場合、機械装置の種類を選び、機械装置のメーカー名・型式・台(式)数・見積金額(税抜)の計を入力してください。

※メーカー名・型式は、機械装置リスト(164頁参照)に掲載されている機械装置は、プルダウン方式となっています。メーカー名から型式と入力してください。

※台(式)数・見積金額(税抜)の計は手入力してください。

同種機械装置の導入を希望します(別紙説明資料あり)

機械装置老朽化等により、同種の機械装置の導入を希望する場合、上記「同種機械装置の導入を希望します」のチェックボックスに✓を入れてください。同種の機械装置導入が可能となります。但し、専門委員会の承認が必要であるため、**説明資料の提出が必要**です。

(3) 家畜飼養管理の改善

同種機械装置の導入を希望します(別紙説明資料あり)

(除糞作業)

↓現在保有の機械装置に「○」をプルダウン選択。

①現在の状況

全て未選択の場合は「バースクレーパーによらない除糞」が自動選択。

バースクレーパーの保有:

○

家畜飼養管理機械装置の保有状況:

バースクレーパー

②導入希望の機械装置

機械装置の種類	バースクレーパー
機械装置のメーカー名	J0Z
型式	チェーン式スクレーパー
台(式)数	1
見積金額(税抜)の計	2,500,000
消費税額	250,000

<p>バークリーナーの導入</p> <p>バークリーナーの導入を希望する場合、委員会対応要/別途説明資料有をプルダウン選択で「○」を選ぶことで、バークリーナーの導入が可能になります。バークリーナーのメーカー名・型式・台(式)数・見積金額(税抜)の計をすべて手入力してください。</p> <p>委員会対応要/別途説明資料有をプルダウンで「○」を選択せずに、バークリーナーの導入することはできません。エラー(赤セル)になります。</p>	<p>バークリーナーの導入を希望する場合、専門委員会の承認が必要です。 削減時間を手入力で記入してください。</p> <p>委員会対応要/別途説明資料有 <input type="radio"/></p> <p>バークリーナーの導入を希望する場合、専門委員会の承認が必要です。 削減時間を手入力で記入してください。</p> <p>委員会対応要/別途説明資料有 <input type="radio"/></p> <table border="1" data-bbox="1359 363 1635 646"> <tr><td>バークリーナー</td></tr> <tr><td>オリオン機械</td></tr> <tr><td>BCB-8ASM</td></tr> <tr><td>1</td></tr> <tr><td>4,500,000</td></tr> <tr><td>450,000</td></tr> </table> <table border="1" data-bbox="1887 373 2166 657"> <tr><td>バークリーナー</td></tr> <tr><td>オリオン機械</td></tr> <tr><td>BCB-8ASM</td></tr> <tr><td>1</td></tr> <tr><td>4,500,000</td></tr> <tr><td>450,000</td></tr> </table>	バークリーナー	オリオン機械	BCB-8ASM	1	4,500,000	450,000	バークリーナー	オリオン機械	BCB-8ASM	1	4,500,000	450,000								
バークリーナー																					
オリオン機械																					
BCB-8ASM																					
1																					
4,500,000																					
450,000																					
バークリーナー																					
オリオン機械																					
BCB-8ASM																					
1																					
4,500,000																					
450,000																					
<p>飼養管理チェック</p> <p>(3)家畜飼養管理の改善の必要項目の入力が終わったら、飼養管理チェックボタンを押下します。入力内容に問題がない場合、削減労働時間の自動計算結果が表示されます入力内容に不備がある場合、自動計算は行われません。エラー表示(赤セル)を修正し、再度飼養管理チェックを押下してください。またバークリーナーを導入する場合、バークリーナーの削減労働時間は自動計算されません。バークリーナーの削減労働時間と他の機械装置の削減労働時間を計算して手入力してください。</p>	<p>飼養管理チェック</p> <p>チェックボタン押下時に自動計算</p> <p>429 時間</p> <p>500</p> <p>一手入力での削減時間の申請が必要な場合、こちらに記入してください。</p>																				
<p>3 機械装置の導入方式</p> <p>リース方式か購入方式か、いずれかをプルダウンで選択してください。必須入力です。</p>	<p>リース方式 ※プル</p> <p>リース方式</p> <p>購入方式</p>																				
<p>(2)削減労働時間の検証方法</p> <p>「機械導入前後で作業日誌等により労働時間を計測・記録して検証する」か「支援機関と導入前後の作業時間を検証する」を、いずれかをプルダウンで選択してください。必須入力です。</p>	<p>(2)削減労働時間の検証方法</p> <p>機械導入前後で作業日誌等により労働時間を計測・記録して検証する</p> <p>機械導入前後で作業日誌等により労働時間を計測・記録して検証する</p> <p>支援機関と導入前後の作業時間を検証する</p>																				
<p>5 機械装置の導入に伴う飼養管理の改善への取組</p> <p>該当する飼養管理の改善への取組がある場合、(1 後継者 2 乳用後継牛 3 その他)から、それぞれプルダウンで「○」を選択してください。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>該当の取組がある場合、「○」をプルダウン選択</th> <th>(参考)左記の回答欄を示す添付資料の例</th> <th>(参考)係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 後継者</td> <td>○</td> <td>年齢の確認できるもの、家族労働協定、農業経営改善計画認定申請書、畜産経営診断結果、酪農・畜産専門紙や業界誌の紹介記事、経営コンクールの事例紹介資料等</td> <td>0.80</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>② ①に該当しない場合、後継者の確保に向けた取組の実施</td> <td>0.95</td> </tr> <tr> <td>2 乳用後継牛</td> <td>○</td> <td>牛群検定成績表(乳検成績表)、畜産経営診断結果、酪農・畜産専門紙や業界誌の紹介記事、経営コンクールの事例紹介資料等</td> <td>0.80</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>② ①以外の場合、自家の牛群更新に必要な乳用牛の自家生産に取り組む経営</td> <td>0.95</td> </tr> </tbody> </table>		該当の取組がある場合、「○」をプルダウン選択	(参考)左記の回答欄を示す添付資料の例	(参考)係数	1 後継者	○	年齢の確認できるもの、家族労働協定、農業経営改善計画認定申請書、畜産経営診断結果、酪農・畜産専門紙や業界誌の紹介記事、経営コンクールの事例紹介資料等	0.80			② ①に該当しない場合、後継者の確保に向けた取組の実施	0.95	2 乳用後継牛	○	牛群検定成績表(乳検成績表)、畜産経営診断結果、酪農・畜産専門紙や業界誌の紹介記事、経営コンクールの事例紹介資料等	0.80			② ①以外の場合、自家の牛群更新に必要な乳用牛の自家生産に取り組む経営	0.95
	該当の取組がある場合、「○」をプルダウン選択	(参考)左記の回答欄を示す添付資料の例	(参考)係数																		
1 後継者	○	年齢の確認できるもの、家族労働協定、農業経営改善計画認定申請書、畜産経営診断結果、酪農・畜産専門紙や業界誌の紹介記事、経営コンクールの事例紹介資料等	0.80																		
		② ①に該当しない場合、後継者の確保に向けた取組の実施	0.95																		
2 乳用後継牛	○	牛群検定成績表(乳検成績表)、畜産経営診断結果、酪農・畜産専門紙や業界誌の紹介記事、経営コンクールの事例紹介資料等	0.80																		
		② ①以外の場合、自家の牛群更新に必要な乳用牛の自家生産に取り組む経営	0.95																		

4 機械装置導入により想定される労働時間の削減効果
 (1) 労働負担軽減経営体における削減労働時間
 ① 画面上部「ステージ2：機械装置の入力」の直下にある **チェック** ボタンを押下します。
 ② 「(1) 労働負担軽減経営体における削減労働時間」に各項目ごとの削減労働時間の積算結果が表示されます（自動計算結果と手入力の両方表示がある項目は手入力の値が優先され積算されます）

ステージ2：機械装置の入力

4 機械装置導入により想定される労働時間の削減効果
 (1) 労働負担軽減経営体における削減労働時間

※削減労働時間は、別添4の「労働時間削減効果分析」の第3「削減が期待される年間労働時間の考え方」に基づき算出します

6 労働時間削減効果分析の結果
 ① 画面上部「ステージ2：機械装置の入力」の直下にある **チェック** ボタンを押下します。
 ② 「6 労働時間削減効果分析の結果」に自動計算結果が表示されます（補助金申請額（税抜）の合計額／削減が期待される年間総労働時間（時間）×係数／10000、小数点第4位を切り捨て）

ステージ2：機械装置の入力

6 労働時間削減効果分析の結果

補助金申請額（税抜）の合計額／削減が期待される年間総労働時間（時間）×係数／10000、小数点第4位を切り捨て
 ※費用対効果分析の結果は、別添4の「労働時間削減効果分析」の第2「評価点数の算出式」に基づき算出します。

画面上部「ステージ2：機械装置の入力」の直下にある **クリア** ボタンを押下することで、すべての入力内容を削除できます。初期状態に戻ります。

ステージ2：機械装置の入力

「ステージ2：機械装置の入力」の直下にある **チェック** ボタンを押下後に、エラーになっている箇所（赤セル）やエラーメッセージが表示がないことを確認します。エラーがある場合、エラーの修正を行なった後、再度 **チェック** ボタンを押下してください。

VI 「機械装置入力シート」から「まとめシート（ICT 別添6）」への転記

1 正常終了した「機械装置入力シート」の内容を「まとめシート（ICT 別添6）」への転記を行ないます。

別添6(1)の第2の2関係) 転記用シート ※機械装置入力シートの「転記」ボタンを押下してください。

令和 6 年度ICT化等機械装置等導入事業 参加要望書 転記用シート

優先順位	畜産ICT応援会議の名称	労働負担軽減経営体名	補助対象機械装置				機械装置価格、補助金額等				
			機械装置の区分	機械装置名	カタログページ	数量	機械価格 A	消費税 B	計 (A+B)	補助率	補助金額 (A×1/2以内)

2 エラー表示がすべてなくなった状態で、「機械装置入力シート」の **転記** ボタンを押下してください。エラーが残っている場合、転記ができません。

ステージ2：機械装置の入力

3 正常に転記が行われた場合、「まとめシート（ICT 別添6）」には「機械装置入力シート」に入力した内容が反映されています。内容に問題がないことを確認してください。

別添6(3)の第2の2関係) 転記用シート ※機械装置入力シートの「転記」ボタンを押下してください。

令和 6 年度ICT化等機械装置等導入事業 参加要望書 転記用シート

優先順位	畜産ICT応援会議の名称	労働負担軽減経営体名	補助対象機械装置				機械装置価格、補助金額等				成果目標値	労働時間削減効果分析の結果	
			機械装置の区分	機械装置名	カタログページ	数量	機械価格 A	消費税 B	計 (A+B)	補助率			補助金額 (A×1/2以内)
	みやぎの畜産ICT応援会議	和牛 モー太郎	搾乳関係機械装置	搾乳ロボット	p111	1	60,000,000	6,000,000	66,000,000	1/2	30,000,000	▲ 33.9	2546
	みやぎの畜産ICT応援会議	和牛 モー太郎	家畜飼養管理機械装置	バーンスクレーパー		1	50,000,000	5,000,000	55,000,000	1/2	25,000,000	▲ 33.9	2546

VII 「Excel マクロシート」のファイル名を付ける

労働負担軽減経営体は、初期状態のファイル名 **01m_rakuraku1-1_0000000.xlsx** の **「0000000」** を変更し経営体のファイルとします。

県番号（半角2桁）＋県内の応援会議コード（半角2桁）＋経営体名又は法人名

（変更上の注意）1 個人の経営体名の場合は、姓と名の上にスペースを入れないこと。

2 法人の場合、「株、有」などのいわゆる環境依存文字や、「(株)、(有)」などの「(、)」での省略は使用せず、「株式会社」「有限会社」「農事組合法人」などの正式な日本語で表記すること。

例) 都道府県名：北海道、応援会議名：きたそらち畜産協議会、経営体名：株式会社和ギュー牧場 の場合、以下のようになります。

県番号 (01) ＋県内の応援会議コード (01) ＋経営体名又は法人名 (株式会社和ギュー牧場) で

01m_rakuraku1-1_0101 株式会社和ギュー牧場.xlsx となります。

これで、「要望調査票」(出力シート (ICT 別添6-1)) が作成されましたので、

② 労働負担軽減経営体は、「Excel マクロシート」ファイルを所属する応援会議まで送信して下さい。(このファイルの応援会議から道府県畜産協会への送信期限 **5月31日まで**。)

③ 労働負担軽減経営体は、「出力シート (ICT 別添6-1)」をプリントし、「提出書類 確認表」の提出添付資料を確認し、すべての必要な確認ができた時点で、**直筆署名等**を行い、提出書類一式を所属する応援会議まで提出して下さい。

(この資料を添付資料とした実施計画書承認申請の応援会議から道府県畜産協会への送信 **6月15日まで**)

VIII 参加要望書（別記様式第1号）の作成

1 応援会議は、まず、労働負担軽減経営体から送信のありました「Excel マクロシート」ファイルを開き、そして、**まとめシート（ICT 別添6）**を開いて下さい。このシートは、2行目にもあるように「**転記用シート**」となっています。

（ 注 意 ）

「転記用シート」と書かれているこのシートは、「別記様式第1号」様式と記載内容が異なりますので、このシートを提出しないでください。

1	別記様式第1号 転記用シート																			
2																				
3	令和 5 年度酪農緊急パワーアップ事業(酪農労働省力化対策事業)参加要望書																			
4	転記用シート																			
5																				
6																				
7	優先順位	楽酪応援会議の名称	労働負担軽減経営体名	機械装置						施設の整備				事業費、補助金額等				成果目標値	労働時間削減効果分析の結果	
8				機械装置の区分	機械装置名	カタログページ	数量	機械価格(税抜)	補助金額	単価(/式・台)	施設整備の内容	事業費(税抜)	単価(/㎡)	事業費A	消費税	計(A+B)	補助率	補助金額(A×1/2以内)		
9		中畜ICT/楽酪応援会議	株式会社中畜ファーム	搾乳関係機械装置	搾乳ロボット	p124	1	30,000,000	15,000,000	25,000,000		4,500,000	55,000	34,500,000	3,450,000	37,950,000	50.00%	17,250,000	▲ 25.4	0.543

2 参加要望書（別記様式第1号）のファイルは、「畜産ICT事業・楽酪GO事業情報提供ページ」の「3 要望調査・実施計画書の承認申請に使用する様式等」の「**提出書類（応援会議⇒中央畜産会）**」中の畜産ICT：要望様式からダウンロードして開いて下さい。

提出書類（応援会議⇒中央畜産会）

●【必須】参加要望書	畜産ICT：要望様式	楽酪GO：要望様式
●【必須】要望調査票		
●【必須】実施計画書		
●【必須】畜産ICT/楽酪GO応援計画	共通	

3 ファイルの中には、右図のような、④シートがありますので、**1号**を開きます。

1号	1-1	1-1-1	2号
----	-----	-------	----

4 1の転記シートの**9行目**を下図の**23行目**に貼り付けて下さい。
なお、複数の労働負担軽減経営体から要望調査票の提出があった場合は、この作業を繰り返すこととなり、応援会議として1枚の参加要望書が作成されます。

1	別記様式第1号																			
2																				
3	令和 5 年度酪農緊急パワーアップ事業(酪農労働省力化対策事業)参加要望書																			
4																				
5	楽酪応援会議の名称																			
6	(都道府県名) ()																			
7	○ 楽酪応援会議推進事業への参加の有無																			
8	楽酪応援会議推進事業への参加の有無																			
9	楽酪応援会議推進事業の取組内容																			
10	会議の開催																			
11	事業計画の策定																			
12	労働時間削減用機械装置の選定																			
13	事業成果の検討																			
14	先進地事例調査																			
15	労働時間削減に取り組む酪農家への指導																			
16	その他																			
17	※ 該当する項目の欄に○をする。																			
18																				
19	○対象者の機械装置の要望取りまとめ																			
20																				
21	優先順位	楽酪応援会議の名称	労働負担軽減経営体名	機械装置						施設の整備				事業費、補助金額等						
22				機械装置の区分	機械装置名	カタログページ	数量	機械価格(税抜)	補助金額	単価(/式・台)	施設整備の内容	事業費(税抜)	単価(/㎡)	事業費(税抜)	消費税	計	補助率	補助金額		
23		中畜ICT/楽酪応援会議	株式会社中畜ファーム	搾乳関係機械装置	搾乳ロボット	p124	1	30,000,000	15,000,000	25,000,000		4,500,000	55,000	34,500,000	3,450,000	37,950,000	50.00%	17,250,000		

「この推進事業費への参加の有無」が「1の転記シート」にはない部分です。

5 複数の労働負担軽減経営体から要望があった場合は、まず、右図の「労働時間削減効果分析の結果」が良いもの（数が小さなもの）が高順位となるように並び替えます。最後に、右図の「優先順位」に1から順に数値（労働時間削減効果分析の結果が同数値の場合は、優先順位も同数値）を入力して下さい。

○対象者の機械装置の要望取りまとめ

優先順位	楽酪応援会議の名称	労働負担軽減経営体名	機械装置		自己、補助金額 補助金額	成果 目標値 ※4	労働時間 削減効果 分析の結果 ※5	検証方法 ※6
			機械装置の区分 ※1	機械装置名 ※2				
1	千代田区楽酪応援会議	天神 三郎	飼料給与関係機械装置	ほ乳ロボット	1,800,000	▲ 28	0.127	
2	中畜ICT/楽酪応援会議	株式会社中畜ファーム	搾乳関係機械装置	搾乳ロボット	17,250,000	▲ 25.4	0.543	

6 作成した別記様式第1号にファイル名を付けて下さい。

初期状態 R6rakuG0yobo_yoshiki.xlsx ⇨ ファイル名変更後 **0000_**R6rakuG0yobo_yoshiki.xlsx

↓
県番号（半角2桁）＋県内の応援会議コード（半角2桁）_（半角アンダーバー）

例）都道府県名：北海道、応援会議名：きたそらち畜産協議会、経営体名：和牛モー太郎 の場合、以下のようになります。

県番号（01）＋県内の応援会議コード（01）で、**0101_**R6rakuG0yobo_yoshiki.xlsx となります。

7 応援会議は、作成した「別記様式第1号」ファイルと、労働負担軽減経営体から提出のあった「Excelマクロシート」ファイルを併せて、5月31日までに道府県畜産協会を経由して、中央畜産会に報告して下さい。

また、応援会議は、「別記様式第1号」をプリントアウトし、2で示した「提出書類（応援会議⇨中央畜産会）」にある「実施計画書・応援計画書」を作成・プリントアウトし、労働負担軽減経営体から提出のあった要望調査票関係書類一式を併せて、6月15日までに道府県畜産協会を経由して、中央畜産会に報告して下さい。